

学校だより

宝達志水町立相見小学校

令和3年7月13日(火)

No. 7

文責 清水ひとみ



相見小学校だより

めざす児童像 : 自ら学びとる子 思いやりのある子 自ら鍛える元気な子

やさしさいっぱい集会 5日(月) ～児童会が企画・進行～



低学年は「友だちへ『ありがとう』の気持ちをもつ。」、中学年は「お互いに分かり合い、助け合おうとする友達へ『ありがとう』の気持ちをもつ。」、高学年は「理解し合い、信頼し、友情を深めようとする友達へ、感謝の気持ちを持つ。」をめあてとし、取り組みました。まず、2週間の「やさしさいっぱい週間」を設定し、見つけた「やさしさ・すてきさ」をカードに書きました。そして、集会では、各学年から2人が、もらってうれしかったメッセージの中から1点を紹介しました。「友達に親切にする。優しい言葉をかける。」ことの大切さを改めて確認し合うことができました。



うれしかったよ ありがとう! 気づいてくれて ありがとう!

[1年]

角 拓磨
川畑 匠美

「うんてい、ぜんぶいけてすごいね。1だんとぼしも。おうえんしてるよ。 みお より」
「いつもむしをつかまえて、あいてをしてくれて、ありがとう。 ひなか より」

[2年]

長谷川 澪璃
松田 董子

「ころんだとき、だいじょうぶっていってくれて、ありがとう。 しほ より」
「いっしょにおえかきしようといってくれて、ありがとう。 はな より」

[3年]

近岡 芙美
永野 瑛汰

「いつも算数のとき、答えをもとめようとして、がんばっているね。 一真 より」
「いつもサッカーや野球をいっぱいしてくれて、ありがとう。 峻仁 より」

[4年]

小川 愛海

「いつもまわりが明るいふんいきになるように笑わせてくれたり、『遊ぼう』とさそってくれたりしているね。 ゆうか より」

免田 大佑

「社会や国語など、みんなの知らない言葉の意味を教えてくれるね。 かのん より」

[5年]

村山 虎羽

「こうさんはいつもおもしろいので、私も元気になるし、みんなも明るい気持ちになります。 萌衣 より」

中田 孝岳

「一年生といっしょに登校していてやさしいなあと思います。これからもやさしくしてあげてください。 綾乃 より」

[6年]

南 春花

「大きな声であいさつしたり、積極的に手をあげたりしていて、すごいなといつも思います。これからもいっしょにがんばろうね。 美優 より」

近岡宗一郎

「分からないところを教えてくれてありがとう。発表の場面で、いつも手を挙げていてすごいと思います。 大和 より」

弁護士によるいじめ防止教室 ～6年生～



6月30日(水)、「中島・早川・北村法律事務所」の北村勇樹 弁護士に来ていただき、「いじめの予防」についてお話していただきました。「いじめはしてはいけない」ということは、誰もが分かっています。今回、「なぜいじめはいけないのか」について、じっくりと考える機会を持つことができました。「相手のことを考えることが大切だ」ということに、みんなの考えがまとまっていきました。「これを言ったらどう思うか」や「あの子は今どんな気持ちなのだろう」などと、考えることです。相手のことを考えない言動は、相手を傷つける原因となります。もしついうっかり相手が傷つく言動をしてしまったことに後で気が付いたときには、勇気を出して「謝る」ことも大切です。今回の経験を今後に生かしていきましょう。



安全マスコット贈呈式 12日(月) 町交通安全母の会より ～ ありがとうございます。大切につかわせていただきます。～

全児童に、手づくりの素敵なマスコットのプレゼントがありました。鈴も付いています。児童代表として、6年 松浦 銀士さんが、お礼を述べて受け取りました。地域の方々の温かい思いに感謝し、安全には十分に気を付けて、登下校や日々の行動をしましょう。

研究授業 7月1日(木) 1年算数 授業者：岡田 教諭

単元名：のこりはいくつ ちがいはいくつ

本時のねらい：求差(ちがい)の場合について意味理解を深める。



図(ブロック)と式を結び付けて考えることで、「くらべる」問題のときも、ひき算をすることに気付くことができました。

ICTを活用し、図と式を結び付けて、適用題を考えることができました。



研究授業 7月8日(木) スマイル学級(自立活動) 授業者：米沢 教諭

単元名：お話名人になろう

本時のねらい：主語と述語のつながりに気を付けて、文を作ることができる。



「お話サイコロ」をしながら、主語「だれが」と述語「なにをする」と、場所「どこで」を決めていき、楽しく文作りができました。



先生と交互にカードを引きながら「言葉ビンゴ」をして、言葉と絵を合わせて文を作りました。

研究授業 7月9日(金) 5年国語 授業者：丹後 教諭

単元名：本は友達 「作家で広げる私たちの読書」

本時のねらい：文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。



ミニ紹介カードをもとに、友達と対話しながら、お話の内容のテーマにぴったりの言葉を入れて、キャッチコピーを考えることができました。

「読書わくわくチェックシート」で点数化して自己評価することで、学びを実感できました。

